

アートカフェミーティング

YANでは例年、山梨県内の福祉関係者をはじめ、美術家やデザイナー、特別支援学校教諭、一般の方等、多様な方々が集まって自由に意見を述べ合う機会「アートカフェミーティング(ACM)」を年に数回開催しています。今年は皆で集まることが出来ない…ならばオンライン上で繋がりたい!という思いから、収録した動画の配信を行います。カフェマスターのアトリエに、ゲストが3つのテーマでそれぞれに集まり、美味しいコーヒーを頂きながら和気あいあいと語り合った様子をぜひご覧ください。

第1回

アート支援について

生まれてくる表現を肯定し続けること

—— ゲスト ——

NPO法人八峰会
サービスセンター八峰 理事長

小宮山明美

すずらん工房所長
浅川さおり



NPO法人八峰会 サービスセンター八峰

北杜市を中心とした精神障害者を対象に就労の機会の提供、地域での生活定着、個々の知識や能力の向上を目標に訓練を行う通所事業所。

その中の作業プログラムで小物作り、パン作り、菓子作り、弁当作りという自主製品に力を入れている。パン、焼き菓子は国産小麦、バターを使い、具も全て手作り。弁当も!品!品丁寧にバランス良く体にやさしいものを作っている。利用者の生産する喜び、販売することで意欲、達成感を感じられるよう日々共に歩む。

北杜市内の2ヶ所の農場と施設外就労契約を結び、仕事を請け負う。



YouTube

第2回

権利擁護を学ぶ

©Copyright(著作権)のこと考えてみませんか?

—— ゲスト ——

齋藤祐次郎法律事務所 弁護士

齋藤祐次郎



齋藤祐次郎法律事務所 弁護士
平成17年10月弁護士登録～平成20年3月生田・名越法律特許事務所
(現インテックス法律特許事務所)
平成20年4月～齋藤祐次郎法律事務所



YouTube

第3回

商品開発を学ぶ

ネガティブ ⇄ ポジティブ

—— ゲスト ——

デザイナー・アートディレクター
ライラ・カセム



日本生まれ世界育ちのイギリス人。ひとの持ち味を見つけ活かすデザインが得意。障害福祉や支援を必要とする現場の人々とともに孤立を解消し、立場やアビリティ問わず一人ひとりの社会参加と経済自立につながるアート作品や商品の制作・開発プロジェクトに国内外で取り組んでいる。主に関わっているプロジェクトとして、「シブヤフォント」と「TURN」がある。好きな魚はイワシとホッケ。

<https://www.shibuyafont.jp/>
<https://turn-project.com/>

—— ゲスト ——

デザイナー・福祉広報アドバイザー
依田正樹



地方メディア企業に勤務するかたわら、福祉事業所などの広報支援に取り組むグラフィックデザイナー。激しい音楽と美しい生き物が大好物



YouTube

いいモノ

つくるう

山梨

この状況は、福祉とつながる絶好の機会!

—— マスター —— 伊藤美輝

愛知県出身。山梨学院短期大学保育科教授。造形教育指導(幼児、学童、障害者)を行う。その他の活動として、山梨県立美術館「つくるうあそぼう造形広場」企画運営・「みんなで作る美術館展」副実行委員長。山梨・人ねっこアートワークでは代表を務め、盲重複障害者施設青い鳥成人寮では造形教室講師として長年にわたり関わっている。また、「FM八ヶ岳アートカフェ@ラジオ」の番組制作及び出演も行う。美術家として版画やドローイングによる作品制作、個展等も行っている。



—— ファシリテーター —— 瀧澤聡

YAN 山梨アール・ブリュットネットワークセンター
センター長



ONLINE WS WORKSHOP

オンラインワークショップ

「会えない」「集まらない」…「でも表現したい!」コロナ禍の影響でさまざまな活動が制限される日々。創作したり、歌って踊って楽しんだり、こんな時だからこそ表現したいと思う多くの方の声に応え、みんなを笑顔にするワークショップ動画を配信します。

大勢で集まって行うことは出来なくても、ご自宅やそれぞれの拠点で動画を見ながら楽しく表現してみませんか?。ぜひご覧ください。



YouTube

世界で一つ笑顔あふれるフードフィギュア ～アイス編～

講師:坂本絵里

粘土に色を付け、こねてのぼして美味しそうなアイスのフードフィギュアを作ります。

坂本絵里 紹介文

和食、洋食、中華、スイーツ、…美味しそうな匂いが漂ってきそうな、本物と見紛う程リアルなフードフィギュアを制作する絵里さん。9年ほど前から制作を始め、これまでに1000個以上の作品を作ってきた。

制作のきっかけは粘土でのマカロン作りを紹介するテレビ番組を見たこと。失敗を何度も繰り返し、試行錯誤を重ねる中で自分なりの技法や工夫が編み出されていった。

絵里さんの作品の魅力は、ただの食品サンプルに留まらずクスクスと笑える表現がなされていること。こぼれた味噌汁、食べかけのショートケーキ、食べ残しの鮭の皮や骨、剥きかけのみかん。人の営みを感じさせる瞬間を切り取ることが、作品をよりリアルで温度のあるものを感じさせる。

食べ物であることで身近な感覚を抱く作品ではあるが、一つの作品に施された手数や道具の数、費やされた時間は計り知れない。粘土や樹脂、パテを使い分け、ニスやレジンを重ね、乾くの待ち、また手を加える。無数の工程を経て出来上がった作品は自信に満ち、凛と佇む。「作品を見てくれた人に笑顔になってもらいたい」と語る絵里さん。制作や作品を介した出会いによって自分を更新し続けている。



幸せを運ぶあったかフェルト

講師:笠原瑠美

柔らかくカラフルな羊毛を手のひらで転がして、まんまるのフェルトボールを作ります。

笠原瑠美 紹介文

20歳の頃からディズニーのキャラクター「ダフィー」が好きです!ディズニーランドが遠く、なかなかそのぬいぐるみが手に入らなかったのが悔しくて、なんとか自分でも作れないかと思い、始めたのが羊毛フェルトでした。フェルト制作ではリアルを目指しています。尚且つそこに自分のオリジナリティを加えていきたいと思っています。亡くなったペットの写真から制作を行う依頼は今まで10件以上受けていると思います。亡くなったペットや飼い主さんにどうやったら喜んでもらえるか、笑顔になってくれるかを常に考えながら、思いやりを持って制作しています。趣味はmyカメラで写真を撮ること。人と話すことがストレス発散です(笑)動物が大好きで、常に猫と戯れています。たまにはゲームで息抜きをしたりします!

ギターにも挑戦していますが、サボり中

皆さんに伝えたいこと。

自分で上手く伝えられないことは、言葉だけではなく表現として伝えるのも私はありだと思えます。例えばハンドメイドや歌など。とにかく焦らずゆっくり生きていこうぜ!(笑)って感じます。



YouTube

音と遊ぼう

出演:山梨音楽療法研究会(山本久美子、松澤忍、木村総江、杉山悠美)

いろんな楽器を手で触り、歌を歌い、たくさんの“音”と夢中になって遊びませんか?
YANキャラクター“モジャくん”も登場します。

山梨音楽療法研究会 紹介文

平成16年4月発足。山梨における音楽療法の地域普及を図ると共に、実践者の質の向上をめざしています。活動の一つである音楽療法ワークショップでは、実際の音楽活動や身体活動などを通して、相手を受けとめること、相手を感じる事、ストレスを解消すること、自己を知ることなどを、みんなで共感・体感します。

山本久美子

山梨音楽療法研究会会長

山の都ふれあいコンサート副実行委員長

小学校特別支援学校、通信教育、知的障害児・者の施設や放課後等デイサービス、自宅等で音楽療法実践。

学会、学校、地域での講演やワークショップ実施。

松澤

忍 元特別支援学校教諭

木村

総江 認定音楽療法士 元特別支援学校教諭

杉山

悠美 放課後等デイサービス指導員 歌の手話語り



YouTube

